

# 「第17回全国布教使大会」概要報告

1. テーマ 「伝える伝道」から「伝わる伝道」へ  
～生死の解決をともに問い、ともに聞く～
2. 趣旨 私たち布教団連合では、発足した1975(昭和50)年より全国布教使大会を開催し、その時代の課題を問い、研鑽を重ねてきました。  
去る2019年8月には「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」をお迎えするにあたり策定された、慶讃法要「趣意書」の付帯事項に「ご法義そのものは時代を超えるものですが、時代の状況や人びとの意識に応じた伝道の方法は工夫されるべきです。近年、指摘されているように『伝える伝道』から『伝わる伝道』へと本質的に転換していく必要があります」と「布教伝道への課題」が提示されました。  
これを受け、2020年度以降の「布教団連合活動方針・活動計画」ではテーマとして掲げ、継続的に学びを深めてきました。また、前回大会の「決意文」においても「私たち布教使は、今回得られた様々な提言を踏まえ、これまで以上に意識して専門用語をわかりやすい言葉で紡ぎ、率先して現代社会に伝わる伝道に取り組むべきである」と確認しました。  
近年、世界的に様々な感染症の拡大、自然災害の脅威、孤独死など「死」が身近な問題として意識されました。「自分が死んでいかなければならない」「私のいのちは一体どうなってしまうのか」といった宗教的な問いに直面したとき、私たちは、これまでに蓄えてきた教養や知識、財産が、死の前では何の支えにもならないことに気づかされます。  
この問いを、誰にも代わってもらえない「私自身の問題」として、ともに「生死出づべき道」を聞かせていただく伝道を考えていきましょう。
3. 期 日 2026(令和8)年2月9日(月)・10日(火) 【2日間】
4. 会 場 本願寺阿弥陀堂、龍谷大学大宮学舎東翼  
リーガロイヤルホテル京都(レセプション)
5. 対象者 布教使および布教団員
6. 参加者 322名(教区布教団長・担当職員55名含む)  
※当日欠席者28名(教区布教団長・担当職員3名含む)
7. 内 容 (1)開会式 司会：竹中了祥(実行委員)  
勤行(讃仏偈)  
総長挨拶  
布教使任用50年経歴者表彰 6名/22名  
布教使任用30年経歴者表彰 13名/55名  
(2)基調講演 司会：遠山泰範(実行委員)  
趣旨説明：横井晃仁(実行委員長)

講師 島菌 進 師 (大正大学客員教授・龍谷大学客員教授)

(3) パネルディスカッション

コーディネーター 釋 徹宗 師 (相愛学園学園長・武蔵野大学総長)

パネリスト 島菌 進 師 (大正大学客員教授・龍谷大学客員教授)

大治朋子 師 (毎日新聞専門編集委員)

花岡尚樹 師 (あそかビハール病院ビハール室長/布教使)

(4) レセプション 司会：松嶋智讓 (実行委員)

※布教団連合結成 50 年を振り返る映像を視聴いただく

(5) 物故者追悼のつどい 司会：小笠原宣隆 (実行委員)

勤行(讃仏偈)

代表焼香 横井晃仁 実行委員長

法話 田坂亜紀子 師 (第 4 連区青年)

(6) 記念講演 司会：末永宗平 (実行委員)

講師 深川宣暢 師 (龍谷大学名誉教授/勸学)

(7) 閉会式 司会：岩崎 信 (実行委員)

勤行(重誓偈)

総団長挨拶 竹田空尊 総団長

決意表明 横井晃仁 実行委員長

8. 記念品 夏扇 (専如門主お印、楠のデザイン絵柄)

9. 主催 浄土真宗本願寺派布教団連合

以上

## 第 17 回全国布教使大会 日程

### 【1日目】2月9日(月)

時間	内容	会場
11:45~12:45	受付	伝道本部中棟ロビー
13:00~13:35	開会式	阿弥陀堂
	オリエンテーション・移動	
14:15~17:00	○基調講演 (40分) ○パネルディスカッション (110分)	龍谷大学大宮学舎東翼
	移動・休憩	
18:00~19:30	レセプション (90分)	リーガロイヤルホテル京都

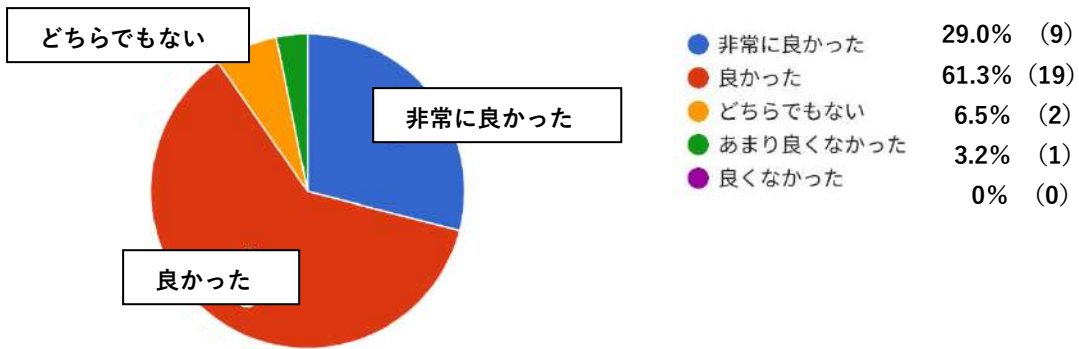
### 【2日目】2月10日(火)

時間	内容	会場
6:00~7:00	晨朝参拝	阿弥陀堂・御影堂
9:00~9:30	物故者追悼のつどい (30分)	阿弥陀堂
	移動・休憩	
10:00~11:00	記念講演	龍谷大学大宮学舎東翼
11:15~11:45	閉会式 (30分)	龍谷大学大宮学舎東翼
11:45	解散	

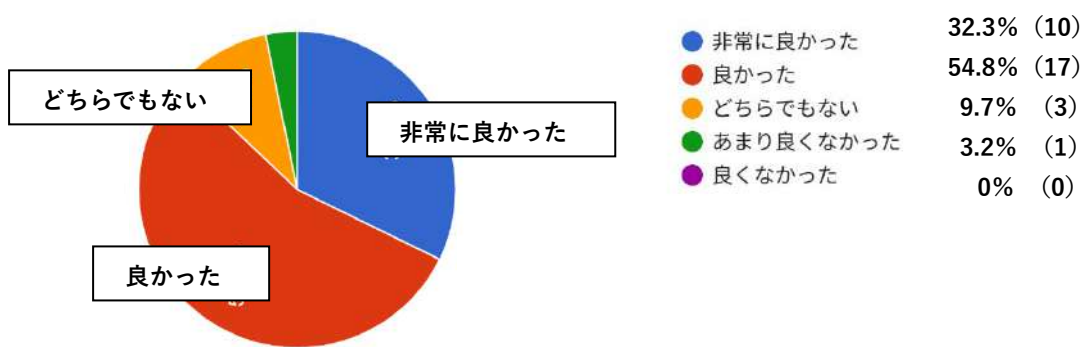
# 第 17 回全国布教使大会参加者アンケートまとめ

260306

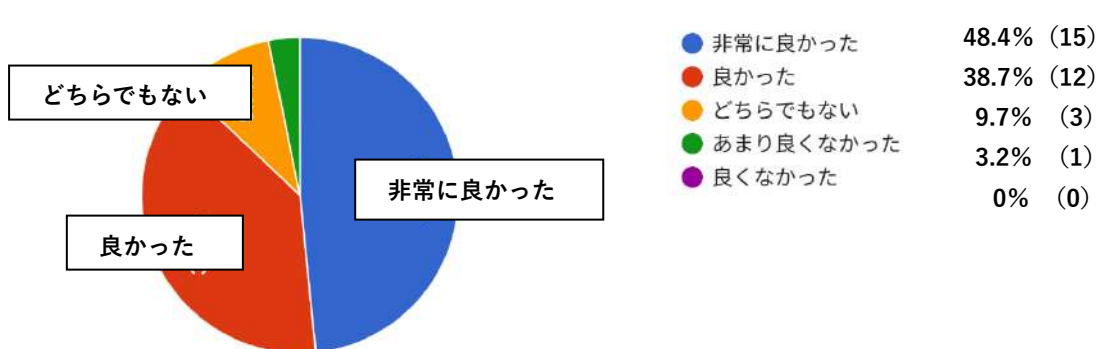
大会全体を通して  
31 件の回答



基調講演について  
31 件の回答



パネルディスカッションについて  
31 件の回答



## 記述式設問

- (基調講演の評価について) 上記理由を教えてください (26 件回答)
- (パネルディスカッションの評価について) 上記理由を教えてください (28 件回答)
- 大会全体を通して学びとなったこと (24 件回答)
- 今後、どのような布教使研修会があれば参加したいですか (20 件回答)
- その他、全体を通してご意見がありましたらお願いいたします。 (18 件回答)

全体として、釈徹宗氏の巧みな進行と、パネリスト（大治氏、花岡氏、島菌氏）による専門性の高い議論が、参加者の深い学びに繋がったことが伺えます。

### 登壇者・進行への評価

- **釈徹宗氏のコーディネート:** 進行が非常に巧みで、パネリストの専門意見を分かりやすく解説・リードしていた点が多く、参加者から高く評価されています。
- **パネラーへの共感:** 大治氏、花岡氏、島菌氏それぞれの知見が高く評価されており、特に毎日新聞の大治氏や花岡氏の発言に強い共感を示す声がありました。
- **印象的な言葉:** 釈氏の「自分が震えていないと伝わらない（共振現象）」という言葉が、参加者の身を引き締める大きなインパクトを与えています。

### 内容に関する主な学び

- **ナラティブ（物語）の探求:** 「死のナラティブ」という切り口が刺激的であった一方、「言葉としてまだ十分に理解できていない」という率直な意見も見られました。
- **AIと人間の役割:** 生成AIにできることと人間にしかできないことを考える契機となり、次世代の「AIネイティブ」によるナラティブの変化への関心も示されました。
- **宗教とケア:** 僧侶がグリーフケアの最前線にいることの再認識や、「ビハーラ」などの専門用語、さらには「儀礼」の重要性についての学びがあったようです。

### 運営・環境へのフィードバック

- **音響の改善:** 以前と比較して「音響が良くなった」という肯定的な指摘がありました。
- **時間配分への要望:** 内容が非常に充実していたため、「もう少し長く話を聞きたかった」「お一人お一人の話を深掘りしてほしい」という、さらなる対話を求める声が複数寄せられています。
- **議論の姿勢:** パネリスト同士の発言がシンクロしており、話す側の「慎重さ」や「誠実さ」を感じ取った参加者もいました。

## 第17回全国布教使大会実行委員会名簿

No.	役職	名前	教区	組	寺号	役職	
1	委員長 (企画)	横井 晃仁	鹿児島	祁答院	泉福寺	総団長補佐	
2	委員	熊原 博文	東京	埼玉	正善寺	総団長補佐	
3	委員	藤澤めぐみ	京都	呉竹	興禪寺	総団長補佐	
4	委員	吉崎 哲真	安芸	佐伯奥	西法寺	顧問	
5	委員	筑波 義厚	東北	秋田	慧日寺	布教団 連合常任委員	第1連区
6	委員	一二三智生	石川	金沢	光源寺		第2連区
7	委員 (企画)	岩崎 法明	和歌山	日高	蓮専寺		第3連区
8	委員	窪田 英俊	山陰	大田西	願林寺		第4連区
9	委員	松嶋 智讓	大分	中津	照雲寺		第5連区
10	委員	味府 浩子	大阪	島中南	常願寺	女性代表	
11	委員 (企画)	遠山 泰範	東京	静岡東	寶専寺	青年 布教使代表	第1連区
12	委員 (企画)	竹中 了祥	富山	婦負東	妙順寺		第2連区
13	委員 (企画)	岩崎 信	和歌山	日高	蓮専寺		第3連区
14	委員 (企画)	小笠原宣隆	山陰	邑智東	西福寺		第4連区
15	委員 (企画)	末永 宗平	長崎	佐世保	明照寺		第5連区

備考：布教団連合各役職任期：2会計年度〔2024(令和6)年4月1日～2026(令和8)年3月31日〕

※上記委員の他、必要に応じて、専門的知識を有する者、その他関係者を招致し、提言を求めることができる。

実行委員会出席	橋本 覚正	東京	布教団連合連区 担当職員	第1連区
	寺井 匠	高岡		第2連区
	梶 信敬	和歌山		第3連区
	黒河 敬生	山陰		第4連区
	川谷 晃真	大分		第5連区